

令和5年 第1回 大仙市議会定例会

# 施政方針演説

令和5年2月22日

大仙市長 老松博行

令和5年第1回大仙市議会定例会にあたり、令和5年度の市政運営の基本方針と施策の概要について申し述べます。

## 1 はじめに

「厳しい寒さの後に見事に咲き誇る梅の花のように、一人ひとりが明日への希望と共に大きく花を咲かせられる日本でありたい」。そうした願いが込められた「令和」の幕開けから早いもので5年を迎えようとしております。

これから始まる令和5年度が、この「令和」に込められた願い、そして今年の干支「癸<sup>みずのとう</sup>卯」が持つ「今までの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍する」という意味のように、現下の様々な危機を乗り越え、市民の皆様の幸福と、本市の発展につながる飛躍の年となりますよう、誠心誠意、全力で市政運営に取り組んでまいり所存であります。

世界では今、ロシアによるウクライナ侵攻や新型コロナウイルスによるパンデミックなど、平和と秩序、健康と安全を揺るがす大きな出来事が次々と起こり、多くの国や地域に暗い影を落としております。

日本も例外ではなく、ウイズコロナ下で社会経済活動が再開しつつあるものの、いまだ回復には至っておらず、加えて、ウクライナ危機に端を発した急激な物価高騰が国民生活や経済産業に大きな打撃を与えて

おり、その対応が急がれております。また、足下では加速する人口減少や、頻発化・激甚化する災害への対応などが求められており、さらにはSDGsやDX、GX※など、世界的な要請とも言うべき多くの乗り越えなければならない課題が生じております。

こうした課題は、スケールの違いこそあれ本市にとっても同様であり、その中でも人口減少対策は喫緊の課題となっております。特に少子化については「静かなる有事」と表現されるように、地域の元気を奪い、まちの活力を蝕む待ったなしの課題となっております。その対策は、最も重要な「未来への投資」と捉えており、若者の定住や出会い・結婚、出産、子育てに至るまで、あらゆる資源を総動員し、様々な施策を強力に展開してまいります。

また、コロナ禍からの復興も大きな課題であります。新型コロナウイルス感染症については、国内で初めて感染者が確認されてから3年が経ち、これまで8回にわたる感染拡大の波を経験しておりますが、現在は昨年末をピークに落ち着きを見せており、感染症法上の分類見直し方針が決定されるなど、平時への移行に向けた道筋が示されたところがあります。市といたしましても、国や県の動向にあわせながら、長引くコロナ禍や昨今の物価高騰の影響を受け、いまだ途上にある地域経済の早期回復に努めるほか、できるだけ速やかに日常生活を取り戻せるよう所要の対応を進めてまいります。

※GX（グリーントランスフォーメーション）…温室効果ガスを発生させない再生可能エネルギーに転換することで、産業構造や社会経済を変革し、成長につなげること。

## 2 重点施策について

次に、令和5年度における重点施策について、「第2期大仙市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の体系に基づいて申し上げます。

### (1) 新時代に向けた農業振興策の強化

はじめに、新時代に向けた農業振興策の強化についてであります。

農業は今、国際情勢の悪化や世界人口の増加などを背景に、食料安全保障問題の顕在化や世界的な食料需要の増大などから、その価値が大きく見直されており、成長産業への転換が期待されております。

農業を基幹とする本市にとってもチャンスであり、本市農業の指針となる「第4次大仙市農業振興計画」のもと、全国有数の米どころであり、県内随一の大豆生産地である強みを活かし、稲作を基盤とした畑作・園芸との複合経営や6次産業化等を一層推進し、持続可能な強いまいせんと農業の確立を目指して取組を進めてまいります。

稲作につきましては、効率的・安定的な経営に向けて農地の集約・集積化に努めるとともに、需要に応じた生産や特色ある米づくりの促進、県や関係機関と連携した「サキホコレ」のブランド化などに取り組んでまいります。また、大豆の高品質化・収量確保に向けた支援や枝豆・花きの生産振興などにも力を入れ、特色ある作物の産地化を進めてまいります。

## (2) 地元企業の振興と企業誘致の強化

次に、地元企業の振興と企業誘致の強化についてであります。

商工業をはじめとする産業は、地域経済を活性化させ、雇用と所得をもたらす、若者の定住、結婚・出産につながる本市発展の要であります。今後もその振興に向け、地元企業の事業拡大や新分野への進出、起業・創業などを幅広く応援するとともに、人手不足の解消を支援する雇用助成金の見直しのほか、女性活躍の推進や男性の育児休暇取得の促進、SDGsやDX、GXへの対応など、企業の魅力・競争力の向上につながる取組を後押ししてまいります。

重点施策の中でも重要な位置づけとなる企業誘致につきましては、その実現において不可欠な基盤となる大曲企業団地の第1期造成が完了し、整備した4区画のうち3区画の引渡しを行っております。うち1区画では1月から操業が開始されており、残る2区画についてもこの4月から工場等の整備が開始されると伺っております。第2期造成については、県内外から寄せられている需要や要望を踏まえながら、実施に向けた調査や設計を進めてきたところであり、令和6年10月の完成を目指して整備を推進してまいりたいと考えております。今後も、コロナ禍による立地需要の変化に対応しつつ、首都圏等の企業に対し、充実した支援制度や雇用の優位性などを積極的にPRしながら誘致に努めてまいります。

### (3) 移住定住の促進と若者がチャレンジできる環境づくり

次に、移住定住の促進と若者がチャレンジできる環境づくりについてであります。

移住定住の促進につきましては、コロナ禍を契機とした地元定住や地方移住への関心の高まり、テレワーク等の新たな働き方が広がっているこの機を捉え、現在策定中の「第3期移住・定住促進アクションプラン」のもと、取組をさらに強化してまいります。県内屈指の子育て環境など本市の強みを広く発信するとともに、相談サポート体制の充実や若者の定住に効果が期待できる住宅取得支援の拡充のほか、「女性が住みたくなるまちづくり事業」の実施や「雪国暮らし支援金」の創設などにより、若者や女性の移住・定住を積極的に促進してまいります。

若者がチャレンジできる環境づくりにつきましては、挑戦する若者を総合的にサポートする「だいせんLabo」を拠点に、企業や大学、金融機関、商工団体などの多様な主体に参画をいただきながら、チャレンジが連鎖する好循環の実現に向けた「土壌づくり」や「人づくり」を進めてまいります。若者チャレンジ応援補助金による直接的な支援に加え、産学官連携セミナーや大学生のフィールドワークの実施、女性活躍の推進に向けたコミュニティ形成や起業を目指す若者と起業家との交流機会の創出にも取り組み、若者が夢を叶え、活躍する、活力ある大仙市に向けた「成長エンジン」の一つとして推進してまいります。

#### (4) 結婚・出産の希望をかなえ子育てしやすい環境づくり

次に、結婚・出産の希望をかなえ子育てしやすい環境づくりについてであります。

出会い・結婚支援につきましては、結婚のきっかけづくりとして、民間活力もお借りしながら若者の多様な出会いの場を創出するとともに、新婚生活を応援する「結婚新生活支援事業」の制度拡充や、AIの活用で成果をあげている「あきた結婚支援センター」への入会支援などを通じて、結婚の希望を持つ皆様を積極的に応援してまいります。

出産・子育て支援につきましては、重点施策の中でも特に力を入れてきた分野であり、子育て世帯に寄り添った手厚い支援体系の構築に努めてきたところでありますが、今後も、若い世代が子育てに希望を持ち、安心して子育てができる環境づくりを目指し、さらなる制度の拡充や見直しに取り組んでまいります。出産や子育ての不安軽減に向け、新たに「産前・産後サポート事業」を実施するとともに、母子手帳アプリ「すくすくはなび」の機能強化により相談体制を充実するほか、国の「出産・子育て応援事業」とあわせた市独自の給付を行い、経済的負担の軽減を図ってまいります。また、本市の気候特性などを背景に子育て世帯のニーズが高まっていた屋内遊び場施設につきましては、県内外の先進地視察や事例研究を踏まえ、既存施設の配置や利用状況、児童・生徒数の見通しなどの条件整理を行いながら、整備に向けた検討を進め

てきたところであり、準備が整い次第、議員各位にご説明申し上げたいと考えております。さらに、多くの子育て世帯が望む「仕事と子育ての両立」を後押しするため、増加する保育ニーズの受け皿となる保育園の整備や運営を支援するほか、豊富なノウハウを持つ民間事業者へ放課後児童クラブの運営を委託し、活動の充実を図ってまいります。

この4月には「こども家庭庁」が発足し、あわせて「こども基本法」も施行されます。「常にこどもの最善の利益を第一に考え、こどもに関する取組や政策を社会の真ん中に据える」という基本法の趣旨は、本市の「子ども条例」の理念にも通ずるものであり、市のあらゆる施策に子どもや子育て世帯の目線を取り入れながら、引き続き地域全体で「子育てに寄り添い、子育てに優しいまち」を目指してまいります。

#### **(5) とともに支え合い誰もが活躍できる地域づくり**

次に、ともに支え合い誰もが活躍できる地域づくりについてであります。

人生100年時代に突入した今、SDGsの目標の一つである「すべての人が健康と福祉を享受できる社会づくり」に取り組む意義は一層高まっており、今後も、市民の皆様が住み慣れた地域で健やかに暮らせるよう、健康寿命の延伸と、地域で支え合い、安全・安心に暮らせる社会の構築を進めてまいります。



健康寿命の延伸に向けた取組の柱となる「健幸まちづくりプロジェクト」につきましては、現在、約2万5千人の皆様から参加いただいております。参加企業も360社を超えるなど「健幸の輪」が確実に広がっております。今後も、この輪がさらに広がるよう参加促進キャンペーン等を展開するとともに、楽しみながら健康づくりに取り組んでいただけるよう「健幸ポイント事業」や各種イベントの充実を図るほか、健幸スポットの導入補助等により、企業の皆様の健康経営への取組も後押ししてまいります。

安全・安心に暮らせる社会の構築につきましては、介護や障がい、生活困窮などの分野を横断し、包括的に支援する重層的支援体制を整備する「つながる・ささえる」ネットワーク整備事業を新たに実施することとしております。今後、関係機関との連携を深めながら、相談・参加・地域づくりの3つの支援を一体的に行い、制度の狭間にある社会課題の解決や地域のつながりの強化に取り組んでまいります。

## **(6) 地方創生への挑戦**

次に、地方創生への挑戦についてであります。

地方創生の「第一の矢」として位置づける「大仙市花火産業構想」につきましては、現在の第Ⅱ期構想が計画の最終年度を迎えることから、総仕上げと次なるステージへの布石として、国内はもとより世界に目を

向けた取組を進めてまいります。「大曲の花火」を組み込んだ旅行商品の造成を目指すクルーズ船向けのデモンストレーションの実施や、国際花火シンポジウムでのPR活動のほか、各種メディアを通じて「大曲の花火」の魅力を国内外に広く発信してまいります。また、4月の春の章では、若手花火師による競技花火に加え、カナダから花火業者を招へいし、世界と日本のコラボレーション花火の打上を計画しております。

「第二の矢」である「農業と食に関する活性化基本構想」につきましては、スマート農業の推進として、秋田県と連携した「秋田版スマート農業モデル創出事業」に取り組むとともに、クボタグループとの連携協定に基づいた水稻や大豆等の省力化・低コスト化に係る実証などを行うこととしております。また、「農業者ビジネス塾」の開講や6次産業化に向けた機械設備の導入支援のほか、いぶりがっこの産地化の推進として、食品衛生法改正に対応した施設改修支援なども行ってまいります。さらに、秋田大学と市内5つの酒蔵との連携により誕生した日本酒「宵の星々」が好評を得ていることを受け、海外展開を見据えた市場調査や情報発信に取り組んでまいります。

地方創生の「第三の矢」となる新たな活性化構想として位置づける「大仙市文化財保存活用地域計画」につきましては、令和5年度中の文化庁認定を目指して策定を進めております。今後、本計画のもと、本市が誇る文化財や史跡・名勝などの保存と活用を総合的に行い、まち

づくりや観光分野などと有機的に結び付けることで、文化財の後世への継承とその活用による地域の活性化につなげてまいります。

### (7) 新たな潮流への対応

こうした重点施策を着実に進め、持続可能なまちづくりを実現していく上で重要な要素となっておりますのが、「新たな潮流」とも言うべき、SDGsやDX、GXなどの社会的要請であります。

SDGsの推進につきましては、様々な機会や媒体を通じた情報発信の強化に加え、新たにシンポジウムや「SDGs取組宣言プロジェクト」を実施するなど、さらなるSDGsの浸透と実践の機運醸成を図ってまいります。また、「大仙市SDGs未来都市計画」に基づき、若者活躍の促進や健幸に暮らせる地域づくり、経済産業の振興など、

「Well-being にあふれ 未来に向けて持続発展する 田園交流都市だいでせん」の実現に向けた取組を着実に進めてまいります。本市のSDGsの取組については、先般発表された日本経済新聞社の「SDGs先進度調査」において県内トップの評価をいただいております。東洋経済新報社の「住みよさランキング」で県内トップの評価をいただいたことに続く嬉しいニュースであり、これまでのまちづくりを総合的に評価いただいた結果と受け止めております。今後も、こうした評価に甘んじることなく、市民の皆様が真に住みやすさを実感し、将来に希望が持てる

持続可能なまちづくりをさらに加速してまいります。

D Xの推進につきましては、「大仙市D X推進ビジョン」に基づき、これまで、各種証明書の申請手続きのオンライン化や発行手数料のキャッシュレス化、コンビニエンスストア等での証明書自動交付サービスなどを実施してまいりましたが、今後も、スポーツ施設のオンライン予約システムをはじめ、市民の皆様の利便性向上に向けたデジタル改革を進めてまいります。

G Xにつきましては、「大仙市ゼロカーボンシティ宣言」に基づく取組の一環として、現在、再生可能エネルギーの導入目標の策定を進めております。今後、その達成に向けて「大仙市地球温暖化対策実行計画区域施策編」の策定を行うこととしており、再エネ導入を中心に全市をあげて実効性のある施策に取り組んでまいります。また、本計画の策定に先駆け、公用車の更新にあわせた次世代自動車の導入や、公共施設の照明のL E D化に取り組むほか、温室効果ガスの森林吸収量の確保強化に向けた「再造林モデル事業」や「Jークレジット制度」の活用検討にも取り組んでまいります。さらに、美郷町及び大曲仙北広域市町村圏組合と連携し、プラスチック資源の循環利用体制の構築に向けた実証試験にも取り組んでまいります。

### 3 令和5年度当初予算（案）の概要について

次に、令和5年度当初予算（案）の概要について申し上げます。

当初予算（案）につきましては、老朽化施設の更新などの歳出増加に加え、コロナ禍による地域経済の疲弊や現下のエネルギー・原材料の価格高騰などが重なり、これまでにない厳しい予算編成となりました。こうした中であっても、市民の皆様の暮らしや地域経済の下支えはもとより、人口減少の抑制や地方創生の実現、DXやGXの推進など、未来への投資につながる取組に対しては優先的に予算を配分しており、一般会計の予算総額は、前年度に比べ3.5%増の447億1,600万円を計上しております。

このうち、「地方創生へのチャレンジ」や「地元企業の振興と企業誘致の強化」、「新時代に向けた農業振興策の強化」などの6つの重点施策には、予算総額の29.2%にあたる130億4,200万円を計上しております。

その他の会計の予算総額につきましては、14の特別会計で109億1,330万7千円、4つの企業会計で97億8,323万円となっております。

また、予算編成にあたっては、公共施設の電気料や燃料費の著しい上昇を補うため、財政調整基金の取り崩しを行っておりますが、令和4年度の決算見込み等を勘案し、今後、一定の基金残高を確保できる

よう積み増しを図ることとしております。

今後も厳しい財政状況が続くものと予測されますが、限られた財源の中で、これまで以上の事業の選択と集中に加え、老朽化により年々コストが嵩む公共施設の統廃合や、少子化に伴う小中学校の再編などを着実に進め、効率的で効果的な行財政運営に努めながら、市民の皆様が安心して暮らせる、将来に憂いのない健全な財政運営に努めてまいります。

#### 4 令和5年度の主な施策の概要について

次に、令和5年度の主な施策の概要について、総合計画の体系に基づいて申し上げます。

##### (1) 魅力のある産業のまちを創ります

はじめに、産業振興・雇用などについてであります。

##### (農林水産業の振興)

担い手の確保育成対策につきましては、新規就農者等を対象とする農業機械の実演試乗会や講習会を開催するとともに、東部・西部新規就農者研修施設での若手就農者の育成や就農定着に向けたフォローアップの充実を図るほか、法人化後の経営の安定化や後継者の確保育成など、生産者の実情に即した支援を行ってまいります。

農業生産基盤の整備につきましては、新たに農地中間管理機構関連

農地整備事業として採択予定の大曲地域の「花館高関上郷地区」を含め、14地区で実施される県営ほ場整備事業を推進してまいります。

畜産振興につきましては、「大仙市畜産振興プラン」のもと、引き続き繁殖牛の増頭に係る支援を行うとともに、次期共進会に向け、さらなる和牛の能力と斉一性<sup>せいいつせい</sup>の向上を図ってまいります。また、化学肥料が高騰する中、堆肥の活用が改めて注目されていることを受け、耕畜連携に係る繁殖雌牛や堆肥散布用機械等の導入を支援してまいります。

林業振興につきましては、再造林面積の拡大を図るため、人工林における再造林事業の補助率を引き上げるとともに、新たに植栽地の下刈りも支援してまいります。また、森林資源の循環利用を促進するとともに、担い手確保などの地域林業における課題解決を図るため、森林林業の専門的な知見を有する人材の配置に向けた準備を進めてまいります。

水産振興につきましては、本市の鮭漁文化を支えてきた水産ふ化場の老朽化が顕著となっていることを受け、移転改築や長寿命化を検討してまいります。また、水産資源の安定確保を図るため、秋田県広域水産業再生委員会に参画し、国や県と連携しながら水産資源を下支えする「つくり育てる漁業」を推進してまいります。

#### **(商工業の振興)**

商工業の振興につきましては、商工団体と連携した経営支援や創業支援などを実施するとともに、中心市街地等の賑わいづくりへの支援を

行うなど、地域経済の活性化につながる取組を進めてまいります。また、全国的な賃金引き上げの動きを踏まえ、雇用・人材確保の両面から地域産業全体の賃金底上げに向けた方策を模索するため、管内事業所を対象に賃金の実態調査を実施してまいります。

### **(観光の振興)**

観光振興につきましては、「第3次大仙市観光振興計画」のもと、インバウンドの本格的な受入再開も視野に、プロモーションの強化や受入体制の整備、観光コンテンツの開発などを積極的に展開してまいります。こうした取組の一環として、現在、「真木真昼県立自然公園」の雄大な自然を活用した新たな観光振興策の検討を進めており、準備が整い次第、議員各位にご説明申し上げたいと考えております。

さらに、観光振興上重要な施設であるJR大曲駅に併設する大仙市観光情報センターにつきましては、2階インフォメーションホールの空調設備更新に続き、現在、1階ふれあい広場の改修を進めており、利用者の利便性向上と観光拠点としての機能充実を図ってまいります。

### **(2) みんなの元気を応援します**

次に、子育て、健康・福祉などについてであります。

### **(保健・医療の充実)**

保健・医療につきましては、合併症による重症化を予防するため、



発症リスクが高まる50歳以上の方を対象に、新たに帯状疱疹予防接種費用の一部を助成してまいります。また、市内医療機関における子宮頸がん検診と婦人科超音波検診の対象年齢を60歳以上に拡大し、受診しやすい環境を整えながら市民の皆様の健康づくりを促進してまいります。

### **(高齢者福祉の充実)**

高齢者福祉の充実につきましては、地域の介護予防活動の場においてリハビリ専門職による運動指導などを行う「地域リハビリテーション活動支援事業」を新たに実施するとともに、医療介護の連携強化や認知症対策の充実などにより「地域包括ケアシステム」のさらなる深化を図ってまいります。

### **(スポーツの推進)**

スポーツの推進につきましては、スポーツを通じた地方創生や市民の皆様の健康増進に資する拠点づくりとして進めている「多目的人工芝グラウンド」の整備が順調に進捗しており、今年7月に供用を開始する予定としております。これにあわせ施設の愛称を公募するほか、オープニングイベントを開催し、市民をはじめ多くの皆様から親しまれ、活用される施設となるよう広くPRしてまいります。また、「大仙市スポーツツーリズム コミッション」を核にスポーツイベントやスポーツ合宿等の取組を進め、交流人口の拡大と地域の活性化につなげてまいります。

### **(3) 住みよいまちを築きます**

次に、安全・安心体制の充実、都市整備などについてであります。

#### **(安全・安心体制の充実)**

安全・安心体制の充実につきましては、「大仙市地域防災計画」及び「大仙市国土強靱化地域計画」に基づき、防災・減災対策を総合的かつ計画的に進めるとともに、自主防災組織の活動促進や共助による避難体制の構築を支援するなど、災害に強いまちづくりを一層進めてまいります。また、消防団員の活動環境の整備として、装備品や消防積載車の計画的な更新を進めるとともに、OB団員の再入団制度などにより団員の確保を図るほか、消防団音楽隊の活動を後押しするなど、団員の士気高揚と消防団活動の活性化につなげてまいります。

#### **(空き家対策)**

空き家対策につきましては、昨年度において制度の拡充を行った「空き家等解体補助金」の利用が大幅に増加しており、空き家件数が減少に転じるなどの目に見える成果が出始めております。こうした流れを加速させるため、事業のさらなる周知に努めるとともに、引き続き空き家の発生抑制や利活用、適正管理、解体の各段階に応じた総合的な対策を講じてまいります。

#### **(道路河川等の整備)**

道路及び橋りょうの整備につきましては、計画的な道路改良や舗装

補修等により交通インフラの維持・強化を図るとともに、「大仙市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき橋りょうの維持管理に努めてまいります。

雄物川中流部の水害対策につきましては、南外物渡台地区の皆様の一日も早い安全を確保するため、集団移転の早期完了を目指して事業を推進してまいります。また、平成30年度から進められてきた一連の「雄物川河川激甚災害対策特別緊急事業」は、今年度をもって完了する予定と伺っておりますが、事業完了後も残る無堤防・暫定堤防区間の解消に向け、引き続き国に対して要望を行ってまいります。

国道13号大曲・秋田間、国道105号本荘大曲道路の整備につきましては、それぞれの整備促進期成同盟会を構成する自治体等と連携を図りながら、早期実現に向けて引き続き要望活動を実施してまいります。

#### **（上下水道の整備）**

上水道事業につきましては、老朽配水管の計画的な改良工事を進めるとともに、老朽化した橋りょう添架管と水管橋の長寿命化対策についても取り組んでまいります。

簡易水道事業につきましては、大曲地域内小友中山地区への令和5年度末の給水開始を目指し、新たに配水ポンプ場を整備するとともに、刈和野地区簡易水道の老朽化対策と強靱化を進めてまいります。

下水道事業につきましては、公共下水道の長寿命化対策として、大曲地域佐野町の管渠改築工事を継続実施してまいります。また、農業集落

排水施設の老朽化対策として、引き続き西仙北地域川里地区の改築更新工事を行うほか、人口減少を見据えた事業の再構築に向け、協和地域の稲沢・水沢地区、太田地域の大町・横沢地区の統廃合計画を検討・実施してまいります。

#### **(住環境の整備)**

住環境の整備につきましては、木造住宅の耐震診断や耐震改修に要する費用への助成に加え、子育て世帯への支援を重視した「住宅リフォーム支援事業」を継続実施し、住環境のさらなる向上と子育て世代の定住促進を図ってまいります。また、「第2期大仙市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、市営住宅の予防保全管理に努めるとともに、長寿命化に向けた改善策を計画的に実施してまいります。

#### **(公園の整備)**

公園の整備につきましては、市内8地域に設定した「地域拠点公園」のうち、中央・西部の基幹公園に位置付ける神岡中央公園、米ヶ森公園の整備を進めてまいります。整備にあたっては、子育てに優しいまちづくりと地域の活性化をテーマに遊具等の設置を行うこととしており、特に子育て世代の利用が多い神岡中央公園については、障がいの有無にかかわらず誰もが利用できるインクルーシブ遊具の設置を予定しております。今後も、子どもたちの笑顔があふれ、市民の憩いの場として安心して利用できる公園づくりに努めてまいります。

#### (4) 豊かな心と創造力を育みます

次に、教育、生涯学習、芸術・文化などについてであります。

##### (学校教育の充実)

学校教育の充実につきましては、中学校の部活動の円滑な地域移行に向け、学校と地域間の調整を担うコーディネーターを配置し、教員や関係者の皆様とともに実務的な検討を進めてまいります。

学校給食事業につきましては、この4月に東部学校給食センターが稼働する予定となっており、児童生徒から喜ばれる安全で安心な給食の提供に引き続き努めてまいります。

##### (生涯学習の推進)

生涯学習の推進につきましては、本年度にスタートした「大仙アカデミー」を引き続き開講し、各界で活躍されているリーダーの皆様を講師に迎え、市民の皆様が主役の地域づくりと地域文化の創造に資する有意義な機会にしてまいります。

生涯学習施設の整備につきましては、老朽化問題を解消し、地域の拠点施設としての機能強化を図るため、改築事業を進めている四ツ屋公民館について、今年10月の供用開始に向けて事業を推進してまいります。

成人式につきましては、8月15日に「大仙市<sup>はたち</sup>二十歳を祝う会」として開催するほか、コロナ禍で開催を見送っていた令和2年度の成人式についても「二十三歳の集い」として開催することとしております。

## **(芸術・文化の振興)**

文化財の保護・活用につきましては、「国指定史跡 払田柵跡」の  
みなみおじひがしたのもの  
南大路東建物の再整備に向けた調査診断や、「国指定名勝 旧池田氏  
庭園」の修復を引き続き実施し、本市の貴重な文化財の保存と文化観光  
資源としての活用推進に取り組んでまいります。

## **(地域間交流・国際交流の推進)**

地域間交流につきましては、有縁交流都市である宮崎県宮崎市、友好  
交流都市である神奈川県座間市及び岩手県宮古市の3市と様々な分野で  
交流事業を推進し、相互理解と相互発展につなげてまいります。

国際交流につきましては、友好交流都市である韓国唐津市との青少年  
交流などを進めるほか、「だいせん外国人相談窓口」における相談対応  
などを継続するとともに、関係機関と連携しながらウクライナから避難  
されてきた皆様の生活サポートを行ってまいります。

## **(5) 時代に合った地域を創ります**

次に、地域社会の維持・活性化等についてであります。

### **(市民との協働)**

市民との協働のまちづくりにつきましては、各地域の特色や資源を  
活かした「彩色千輪プロジェクト」のもと、地域の拠点施設を核に、  
市民の皆様との協働で地域の課題解決や活性化に取り組んでまいります。

## (男女共同参画の推進)

男女共同参画の推進につきましては、「第3次大仙市男女共同参画プラン」に基づき、女性活躍の推進に向けたセミナーの開催や、男性の家事・育児への参加に対する意識の醸成、多様性の理解に向けた取組を進めるなど、すべての人が意欲に応じて活躍できる包摂性のある社会の形成に努めてまいります。特に女性活躍の推進については、本市の持続的な成長や若年女性の移住・定住の観点からも重要な要素となっており、SDGsの目標の一つでありますジェンダー平等の実現とあわせ、市民や企業、団体など多くの皆様との協働により着実に推進してまいります。

## 5 むすびに

結びに、今年の展望と決意について申し上げます。

私たちは今、これまでの延長線上にない世界を生きております。

「一身独立して一国独立する」

幕末・明治の洋学者で慶應義塾大学の創始者であります福沢諭吉の言葉ではありますが、変化が著しい現代のまちづくりにおいても、大いに参考となる言葉として心に留めております。先行きの見えない時代にあって、今を生きる私たちが成すべきことは、一人ひとりが当事者として自らの地域の将来を考え、自ら行動を起こしていくことであり、その

確かな実践が大仙市の未来を切り拓く力になるものと考えております。

頼もしいことに、今年度からスタートした若者チャレンジ応援プロジェクトでは2名の若者が勇気をもって新たな取組にチャレンジしております。また、創業支援事業を通じてこの地で生業を起こそうとする方も増えております。さらには、地域を盛り上げようと積極的に地域づくり活動に汗を流す皆様もおられます。このチャレンジの拡がりはまさに本市の未来を切り拓く大きな原動力になるものと思っております。

こうした方々の心底には、ふるさとに対する強い想いと、まちの未来に対する責任感があるのではないかと思っております。その想いをしっかりと受け止めながら、市民の皆様一人ひとりが輝き、躍動するまちづくりを進めていかなければならないと決意を強くしているところがあります。今後も、私たちの選択と行動で未来を創造するという気概のもと、ふるさとに責任と誇りを持ち、将来に希望が持てるより良いまちを目指して、「大仙市の未来を拓く」柔軟で力強い政策を、迅速果敢に全力で取り組んでまいり所存であります。

以上、令和5年度における市政運営の基本方針と施策の概要について申し上げます。市民の皆様並びに議員各位からのより一層のご支援とご協力をお願い申し上げます、令和5年度の施政方針といたします。



別添

令和5年第1回大仙市議会定例会

## 市政報告（諸般の報告）

令和5年2月22日

大 仙 市

## 目 次

### 【農林部】

- 1 大仙市農業元気賞について ..... 1
- 2 市内5酒蔵による地酒統一ブランドについて ..... 1
- 3 スマート農業技術に関する研修会について ..... 1
- 4 鮭資源等確保活用事業について ..... 1
- 5 第145回秋田県種苗交換会大仙市協賛会の解散について ..... 1

### 【経済産業部】

- 6 大曲・仙北地域就職面接会について ..... 2
- 7 令和5年3月高校卒業予定者の就職状況について ..... 2
- 8 仙北地域企業説明会について ..... 2

### 【観光文化スポーツ部】

- 9 市内の小正月行事等について ..... 2
- 10 文化財の保存・活用について ..... 2
- 11 大仙市文化財保存活用地域計画について ..... 3

### 【建設部】

- 12 雄物川河川激甚災害対策特別緊急事業（国）について ..... 3
- 13 河川改良復旧事業（県）について ..... 3
- 14 中良野橋橋梁架替工事について ..... 3

### 【教育委員会事務局】

- 15 「大仙ふるさと博士育成」事業について ..... 3
- 16 秋田県芸術選奨について ..... 3
- 17 優良公民館表彰（全国表彰）について ..... 4
- 18 大仙市芸術文化賞について ..... 4
- 19 令和5年度大仙市民書初め大会について ..... 4
- 20 太田文化プラザ改修事業について ..... 4
- 21 第2回大仙アカデミーについて ..... 4

### 【上下水道局】

- 22 上水道事業について ..... 5

23	簡易水道事業について	5
24	下水道事業について	5

【新型コロナウイルス経済対策】

25	経済対策	4月臨時会	5
26	経済対策	6月定例会	6
27	経済対策	9月定例会	7
28	経済対策	10月臨時会	7
29	経済対策	12月定例会	8

## 【農林部】

### 1 大仙農業元気賞について

3月22日に開催を予定している大仙市農業研修会において、大曲、協和、仙北の各地域で活躍する若手農業者3名を表彰することとしております。これまで受賞された47名と同様、地域農業をけん引する若きリーダーとしてさらなる活躍を期待しております。

### 2 市内5蔵元による地酒統一ブランドについて

市内の酒米生産者と5つの酒蔵、秋田大学の連携プロジェクトとして、学生が酒米作りから醸造まで携わり、大仙市産米を使用して仕込んだ地酒統一ブランド「宵の星々」が完成し、3月4日、5日の両日、道の駅なかせんを会場に販売会を開催する予定としております。

### 3 スマート農業技術に関する研修会について

2月15日、大綱交流館を会場に、RTK基地局を活用したスマート農業技術に関する研修会を開催しております。RTK基地局は、位置情報を補正し高精度な測位を可能にするもので、本市と仙北平野土地改良区がそれぞれ設置を計画しております。当日は認定農業者をはじめ146名が参加し、スマート農業がもたらす効果や導入事例等について情報提供を行っております。

### 4 鮭資源等確保活用事業について

今期の鮭捕獲量は、不漁となった昨年から一転し、平年の約1.2倍となる5,551尾に上り、340万1千粒の種苗卵を採取しております。近年、太平洋側では秋鮭漁の不漁が続いており、友好交流都市である宮古市では、ふ化放流事業の実施が困難となっていることから、雄物川鮭増殖漁業生産組合に協力をいただき、1月6日に発眼卵30万粒を贈呈しております。

### 5 第145回秋田県種苗交換会大仙市協賛会の解散について

第145回秋田県種苗交換会が盛会裏に終了したことを受け、大仙市協賛会の解散に向けた清算手続きを進めてまいりましたが、1月31日に開催した解散総会において、事業報告や収支決算などが承認されたことを受け、同日をもって解散しております。

## 【経済産業部】

### 6 大曲・仙北地域就職面接会について

地元企業の人手不足による労働生産性の低下や地域の担い手不足の解消に向け、12月21日、グランドパレス川端を会場に大曲・仙北地域就職面接会を開催し、市内企業を含む37社と大曲仙北地域で就職を希望する求職者31人が参加しております。

### 7 令和5年3月高校卒業予定者の就職状況について

ハローワーク大曲によると、昨年12月末時点の管内における就職希望者は241人で、うち230人が内定しており、秋田県平均93.9%を1.5ポイント上回る95.4%となっております。

### 8 仙北地域企業説明会について

地域の企業を知り就職に対する理解を深めるとともに、早期離職の防止と若者の地元定着を図るため、2月8日、大曲交流センターを会場に仙北地域企業説明会を開催しております。当日は、市内企業を含む30業者と高校2年生404人が参加しております。

## 【観光文化スポーツ部】

### 9 市内の小正月行事等について

大仙の冬を彩る小正月行事や冬まつりは、新型コロナウイルスの感染防止対策を講じながら開催されております。

- 1月15日 八坂神社ぼんでん（中仙）
- 2月 4日 太田の火まつり（太田）  
払田柵の冬まつり（仙北）
- 10日 刈和野の大綱引き（西仙北）
- 11日 川を渡るぼんでん（大曲）  
上村の火振りかまくら（中仙）
- 14日 押切の火振りかまくら（中仙）
- 18日 鳥子舞・大曲の綱引き（大曲）

### 10 文化財の保存・活用について

昨年10月に開かれた国の文化審議会において、重要文化財に指定するよう答申がなされていた内小友地区の佐藤家住宅（主屋・文庫蔵・味噌蔵・米蔵および検査所・大工小屋）が、12月12日付けの官報で告示され、正式に国の重要文化財に指定されております。

## 11 大仙市文化財保存活用地域計画について

今年度中の策定に向け検討を進めている「大仙市文化財保存活用地域計画」につきましては、これまで3回にわたり協議会を開催し、貴重なご意見をいただいております。1月25日には文化庁との協議を行っており、令和5年度中の認定を目指してまいります。

### 【建設部】

## 12 雄物川河川激甚災害対策特別緊急事業（国）について

令和5年1月末の進捗率は、用地調査業務100%、用地補償業務99%、築堤や堤防のかさ上げ等の工事98%と伺っております。

## 13 河川改良復旧事業（県）について

令和4年12月の檜岡川復旧工事の完成をもって、秋田県が管理する河川の一連の改良復旧事業が完了したと伺っております。

## 14 中良野橋橋梁架替工事について

秋田県が行っている福部内川の河川改良事業にあわせ、県と市との基本協定に基づき、令和3年度から県が進めてきた市道変電所松ノ木線に架かる中良野橋橋梁架替工事につきましては、令和5年3月中の完了を予定しておりましたが、原材料の調達に支障が生じたため工期を延長し、令和5年度内の早期完了に努めると伺っております。

### 【教育委員会事務局】

## 15 「大仙ふるさと博士育成」事業について

「コロナ禍でも学びを止めない」という合言葉のもと、夏季休業中に7箇所、冬季休業中に4箇所の事業所等に協力をいただき、「企業見学DAY」「ふるさと農業体験DAY」を実施し、児童生徒延べ234人が参加しております。大仙ふるさと博士の認定を受けた児童生徒は、2月20日時点で、名誉博士189人、上級930人、中級3,466人、初級5,789人となっております。

## 16 秋田県芸術選奨について

1月27日、第48回秋田県芸術選奨表彰式が秋田県正庁で開催され、ふるさと文化賞に「大仙民話の会」が選定されております。伝統や方言の次世代への継承に向け、民話を方言で語る口演活動などの意欲的な取組が高く評価されての受賞と伺っております。

#### 17 優良公民館表彰（全国表彰）について

2月3日、文部科学省が主催する第75回優良公民館表彰の表彰式がオンラインで開催され、地域住民の学習活動に貢献した公民館として南外公民館が表彰されております。地域の活性化に寄与できる子どもの育成を目指す「なんがいの味・食育体験交流事業」の取組が高く評価されての受賞と伺っております。

#### 18 大仙市芸術文化賞について

2月16日、大仙市芸術文化協会が主催する大仙市芸術文化賞の表彰式が開催され、1団体1個人が功労賞を受賞しております。

#### 19 令和5年大仙市民書初め大会について

1月5日、大曲体育館を会場に令和5年大仙市民書初め大会を開催し、児童生徒を含む102人が参加しております。当日は、書初めのほか、大曲高校書道部による書道パフォーマンスや、初心者を対象とした書道体験などが行われております。作品は1月13日から22日までの間、大曲交流センターに展示され、多くの皆様に鑑賞していただいております。

#### 20 太田文化プラザ改修事業について

太田文化プラザ改修事業につきましては、昨年12月に内装等の改修工事を終えており、令和元年度から年次計画で進めてきた一連の改修事業は全て完了し、1月から利用を再開しております。

#### 21 第2回大仙アカデミーについて

2月18日、大曲市民会館大ホールを会場に第2回大仙アカデミーを開催し、約320人の市民の皆様に参加をいただいております。講師に神岡地域出身で「株式会社コンポン研究所」代表取締役所長として活躍されている菊池昇氏をお迎えし、「高質な田舎とテクノロジー」と題して、これからのトレンドを活用した地方創生のデザインについて講演をいただいております。

## 【上下水道局】

### 22 上水道事業について

老朽化した配水管の改良工事につきましては、12月21日に戸蒔字松ノ木地区の工事を終えております。

また、大曲地域の2橋梁で進めている上水道添架管支持金物更新工事につきましては、館の橋での工事は3月上旬の完成に向け順調に進捗しておりますが、藤木下橋での工事については、施工方法の変更が必要となったため、令和5年度への繰越を予定しております。

### 23 簡易水道事業について

水道未普及地域解消事業につきましては、大曲地域松倉地区の配水管拡張工事が12月23日に完成し、松倉集落から鷹ノ巣集落までの給水を開始しております。また、内小友中山地区についても、今年度の工事が12月16日に完成しております。

協和南部地区の配水管更新事業につきましては、令和4年度に予定していた工事が12月16日までに完了しております。

### 24 下水道事業について

西仙北地域の川里地区農業集落排水施設における改修工事につきましては、3月中旬に全ての工事が完成する予定となっております。

## 【新型コロナウイルス経済対策】

### 25 経済対策 4月臨時会

#### (1) 飲食店等経営支援事業

市内に事業所を有する令和元年の売上額120万円以上の個人事業主または中小企業で、令和3年の売上額（法人は直近決算期の売上額）が令和元年比で20%以上減少した事業者に対し、1事業所あたり20万円を給付するもので、6月30日に受付を終了し、251件の申請を受け付け、5,020万円を支給しております。

#### (2) 酒蔵支援事業

市内に酒蔵を有する事業所に対し100万円を給付するもので、6月30日に受付を終了し、8件の申請を受け付け、800万円を支給しております。



### (3) 宴会場施設運営支援事業

大人数での利用が可能な宴会場を所有する事業所に対し、年間売上額と売上額の減少率に応じて支援を行うもので、6月10日に受付を終了し、15件の申請を受け付け、1,240万円を給付しております。

### (4) コンベンション施設運営支援事業

大規模なイベント開催用複合施設を運営する事業所に対し、会議場の面積に応じて支援を行うもので、6月30日に受付を終了し、6件の申請を受け付け、5,131万3千円を給付しております。

### (5) 宿泊業等支援事業

令和3年12月から令和4年2月までのいずれかの月の売上額が、令和元年同月比で20%以上減少した宿泊事業者に対し、収容定員と利用者数に応じて支援を行うもので、6月30日に受付を終了し、14件の申請を受け付け、780万円を給付しております。

### (6) 観光交通事業者支援事業

市内の貸切観光バス、タクシー及び自動車運転代行事業者に対し、車両規模に応じて支援を行うもので、6月30日に受付を終了し、29件の申請を受け付け、1,091万円を給付しております。

### (7) 「全国へ届け大仙の味～夏の陣～」特産品発送支援事業

本市特産品の販売を促進することで消費を喚起し、販路拡大につなげることを目的に特産品の送料助成を行うもので、35事業所に対し、6,338件、538万9千円を給付しております。

## 26 経済対策 6月定例会

### (1) プレミアム付地域商品券発行事業

市内における消費を喚起し、地域経済の回復と商業の振興を図るため、プレミアム率40%の地域商品券を発行するもので、1月31日に利用期間が終了しており、販売率は91.8%で、約9億9千万円が市内に流通しております。

## **(2) テナント事業者支援給付金事業**

市内において事業所を借りて家賃を支払っている個人事業主または中小企業で、令和元年の売上額が120万円以上あり、令和3年の売上額（法人は直近決算期の売上額）と比較して20%以上減少した事業者に対し、直近支払い家賃の1.5か月分を給付するもので、7月29日に受付を終了し、110件の申請を受け付け、1,416万7千円を支給しております。

## **(3) 住民税非課税世帯等への臨時特別給付金支給事業**

令和3年度及び令和4年度の住民税非課税世帯等に対し、1世帯あたり10万円を給付するもので、10月31日に受付を終了し、209世帯に対し、支給を完了しております。

## **(4) 子育て世帯生活支援特別給付金支給事業**

児童扶養手当受給世帯または住民税非課税世帯等に対し、児童1人あたり5万円を給付するもので、2月10日時点で、児童1,375人分の支給を完了しております。

## **27 経済対策 9月定例会**

### **(1) 貨物自動車運送事業者支援給付事業**

秋田県が実施する「秋田県トラック運送燃料高騰緊急支援金」の交付決定を受けた対象事業者に対し、車両の種類と走行距離に応じて支援を行うもので、11月11日に受付を終了し、36件の申請を受け付け、1,452万円を給付しております。

## **28 経済対策 10月臨時会**

### **(1) 電力・ガス・食料品等価格高騰対策緊急支援事業**

令和4年度住民税非課税世帯等に対し1世帯あたり6万円、家計急変世帯に対し5万円を給付するもので、1月31日に受付を終了し、2月24日までに8,283世帯に対し支給を完了する予定となっております。

### **(2) 住民税均等割のみ課税世帯への支援事業**

住民税均等割のみの課税世帯に対し1世帯あたり5万円を給付するもので、1月31日に受付を終了し、1,893世帯に対し支給を完了しております。

**(3) 在宅重度障がい者（児）介護世帯への支援事業**

特別障害者手当等の受給者を介護している世帯に対し、受給者1人につき5万円を給付するもので、対象となる431人に対し、11月中に支給を完了しております。

**(4) 在宅高齢者等介護世帯への支援事業**

同居する要介護高齢者を介護している世帯に対し、1人あたり5万円を給付するもので、対象となる54世帯に対し、11月中に支給を完了しております。

**(5) 農業用肥料高騰対策支援事業**

令和4年7月1日現在、市内に住所または事業所を有し、令和4年度にJA等への販売実績があり、次年度以降も営農継続の意思があること等の要件を満たす農業経営体に対し、作目ごとに面積に応じて給付金を給付するもので、1月末まで申請を受け付け、3,321経営体に1億4,479万6千円を支給しております。

**(6) 「全国へ届け大仙の味～冬の陣～」特産品発送支援事業**

本市特産品の販売を促進することで消費を喚起し、販路拡大につながることを目的に特産品の送料助成を行うもので、1月31日時点の概算で、37事業所に対し9,000件、850万円を給付しております。

**(7) 就学援助費受給世帯への支援事業**

物価高騰の影響により日常生活の経済的負担が増加している就学援助受給世帯（子ども支援課で実施した「子育て世帯生活支援特別給付金」の受給世帯を除く。）に対し、児童生徒1人につき3万円または5万円を給付するもので、2月末までに対象となる25世帯に対し、支給を完了する予定となっております。

**29 経済対策 12月定例会**

**(1) 飲食店応援給付金事業**

市内に事業所を有し、令和元年の売上額が120万円以上の飲食業を営む個人事業主または中小企業で、令和4年の売上額（法人は直近決算期の売上額）が令和元年比で20%以上減少した事業者に対し、1事業所あたり10万円を給付するもので、2月17日時点

で66件の申請を受け付け、680万円を支給しております。

**(2) 宴会場施設運営支援事業**

大人数での利用が可能な宴会場を所有する事業所に対し、年間売上額と売上額の減少率に応じて支援を行うもので、1月16日から申請を受け付けており、2月17日時点で12件、500万円を給付しております。

**(3) 指定管理施設等支援事業**

新型コロナウイルス感染症の影響により営業収入が大幅に減少している市所有温泉施設や道の駅等の経営を支援するもので、9施設に対し、1,725万円を給付しております。

**(4) コンベンション施設運営支援事業**

新型コロナウイルス感染症の影響により営業収入が大幅に減少している大規模なイベント開催用複合施設を運営する事業所に対し、会議場の面積に応じて支援を行うもので、12月26日に受付を終了し、5件の申請を受け付け、4,478万5千円を給付しております。

**(5) 生涯学習指定管理施設支援事業**

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が大幅に減少しているペアーレ大仙及び八乙女交流センターの経営を支援するもので、1月16日にそれぞれ100万円を給付しております。